

講義名	映画で学ぶ日常英語			
担当教員	藤岡 千伊奈			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身につけることが不可欠です。このクラスでは、映画「ノッティングヒルの恋人」を用いて、英語のリズニング力と語彙力を高めながら、高校レベルの文法力を習得することを目的としています。映画を観ながら、実際のセリフを聞き取って学び、内容を理解しながら楽しく英語を学んでいきます。また、授業外でも映画を観て、レポート提出等毎週課題が出る授業となります。授業には積極的な参加が求められます。皆さんの前向きな姿勢・努力は、成績に反映されます。

到達目標

1. 映画のナチュラル・スピードの会話を聞き取ることができるようになる。
2. 語彙・添まり文句や口語表現を身に付けることができるようになる。
3. 高校レベルの重要文法項目を習得できるようになる。
4. 映画の背景にある英語圏の文化知識を高めることができるようになる。

*オンラインでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできない。

提出課題

教科書の予習課題・映画レポート等、毎週課題が出ます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提出課題に直接コメントを書いてフィードバックします。また、クイズに関しては、授業内で解説します。

評価の基準

- 1) 授業姿勢：10%
- 2) 課題：20%
- 3) 映画レポート：30%
- 4) 小テスト：10%
- 5) 学期末テスト：30%

履修にあたっての注意・助言他

1. 5回（通期も含め）と単位なしになるので要注意
2. 第1回目の授業で、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
3. 授業中、遅刻・携帯電話を触る学生は、その日「欠席」となるので注意すること。
4. 新しい教科書を購入しないと単位は取れません（古本不可）。

教科書				
.English Grammar in Focus-Expanded Edition .	磯本浩美・濱田真由美	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	2,268	9784777363483

プリント資料及び参考文献

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

- 1 授業ガイダンス・自己紹介
- 2 Unit 1 Notting Hill-Not a Bad Place to Be
- 3 Unit 1 Notting Hill-Not a Bad Place to Be/Unit 2 Surreal, But Nice
- 4 Unit 2 Surreal, But Nice/Unit 3 I'll Be Your Date
- 5 Unit 3 I'll Be Your Date/Unit 4 Miracles Do Happen
- 6 Unit 4 Miracles Do Happen/Unit 5 Do you want to Come Up?
- 7 Unit 5 Do you want to Come Up?/Unit 6 Nice Surprise or Nasty Surprise
- 8 Unit 6 Nice Surprise or Nasty Surprise/Unit 7 These Are Such Horrible Pictures
- 9 Unit 7 These Are Such Horrible Pictures/Unit 8 Breakfast in Bed? Or Lunch or Brunch?
- 10 Unit 8 Breakfast in Bed? Or Lunch or Brunch?/Unit 9 Our Perspectives Are Different
- 11 Unit 9 Our Perspectives Are Different/Unit 10 Wait! There Are Things to Say
- 12 Unit 10 Wait! There Are Things to Say/Unit 11 Don't Forget-I'm Also Just a Girl
- 13 Unit 11 Don't Forget-I'm Also Just a Girl/Unit 12 Where's the Press Conference?
- 14 Unit 12 Where's the Press Conference?
- 15 調整授業

*感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となります(オンデマンドではない)。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

*「2単位の講義では、1回の講義について4時間の自己学習が必要」ということなので、その時間を、テキストの予習（各ユニットのWords & Phrases）・復習・課題（映画レポートを含め）に使う。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学の高校、経済、人間社会学部生が、各分野において卒業時に必要とされるスキル・知識・コミュニケーション力を英語においても身に付けることでグローバル社会で生きる力を修得する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

*Nellies 石原さんお取り置き

*感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となります(オンデマンドではない)。